

植村株式会社

UVプリンターを活用した生産性の向上と少ロットオリジナル商品の展開

UVプリンターを活用して、生産ロットなどの課題を解消し生産プロセスの向上を目指すだけでなく、商品ラインアップの充実やネットショップでの客先個別要求に対応し手芸若年層の発掘、介護市場への参入を図る。

■代表者 代表取締役 植村 一夫
 ■設立 昭和38年12月23日
 (創業 明治35年)
 ■資本金 10,000千円
 ■従業員数 14人
 ■業 種 繊維・衣服等卸売業
 ■所在地 〒602-8246
 京都府京都市上京区上長者町通黒門東入杉本町459

■TEL・FAX 075 (415) 1001・075 (415) 1003
 ■URL <http://www.inazuma.biz/>
 ■E-mail info@inazuma.biz



事業の概要

■手芸市場の現状

当社は繊維資材の生地などを仕入れ、自社で商品企画を行った後、外注先に製造委託して、商品を生産することを基本としています。手芸用品市場での売上比率が9割以上を占めており、多彩な手芸用バッグパーツを幅広く供給し、他社の追随を許さない取扱商品の種類の豊富さとオリジナル性が高く評価されています。

古くから多くの人に親しまれてきた手芸ですが、顧客層が高齢化するとともに、近年、手芸人口の減少が顕著になってきました。このような状況を打開するためには、若年層を含む需要の掘り起こしや、新たな市場への販路拡大が急務となっています。そして、以下のような課題を認識しています。

■手芸パーツの多色・多柄展開

社会の多様化にともない、手芸パーツにおいても、定番に飽き足らず、独自性に価値を見出す方が多くなってきていますが、現状では外注委託先への最小ロットでの発注が必要となるため、多品種小ロット販売の場合も、在庫リスク発生が避けられません。

例えば、「持ち手」パーツが3柄あり、10色展開すると、30パターンが発生し、最小でもそれぞれ数百組単位の発注が必要になりますので、オリジナル性を重視して種類を増やすにつれて、在庫が増えることとなります。

■インターネット販売への対応

当社では、これまでの卸売りに加えて、新たに個人のお客様を対象としたインターネット販売（INAZUMA Shop.）にも進出しており、今後市場の拡大が期待されます。

現在、当社ではカバン作り用パーツだけでも3千種類以上の商材を取り扱うなど、ニーズに十分お応えする体制を整えています。インターネット市場においては、お客様が世界に一つだけのオリジナル作品を作りたいという傾向が特に強く、現状の最小ロット発注方式では、今後お客様のニーズに十分応えることが難しくなっていくことが予想されます。

■高齢者向け新商品の改善

高齢者や介護市場向けに開発した新商品で、針を使わない縫い付け手芸キット「ファンジーステッチ」[写真1]があります。合成皮革などの素材に目印となる穴を空けておき、先端がセルチップ加工された靴紐状の組紐を通すことで手芸作品を作ることができるため、安全性やリハビリ効果の大きさから、利用者のみならず、施設の作業療法士など専門家にも高い評価をいただいています。

反面、縫い付け箇所を明示するためのトレース紙への転写など、事前準備作業に時間と手間がかかるとの声が多く寄せられ、準備作業の簡素化が課題となっていました。

事業の内容

■UVプリンターの導入

当社はこのような事業課題を解決するためにUVプリンターを導入しました。



UVプリンター外観

UVプリンターとは、紫外線を照射すると瞬時にインクが硬化するUV硬化インクを使って、立体曲面部や表面に凹凸のある皮革などにも印刷できる装置で、[写真1]の様な質感も表現できるため、最近スマホケースなど様々な商品にも利用が広がっています。

■多品種小ロット販売への対応

合成皮革などの素材をあらかじめ準備しておけば、UVプリンターを使用することによって、注文に応じて1個単位で自由な柄を印刷して、商品を完成させることができます。

また、外注加工で必要であった印刷用金型製作が不要になるほか、従来3週間程度要していた加工期間も、自社で即日製作できるようになるなど、コスト・納期面でのメリットも享受できます。

■ネット販売向けを中心とした個別印刷への対応

また、UVプリンター活用により、上記の極小ロット対応に加え、お客様が希望されるコンテンツも自由に印刷可能となります。

手芸パーツにお好きな写真・イラスト・文字などを入れることで、完全なオリジナル部品が1個単位で製作可能となるほか、カードケースや迷子札への印字など新商品・新サービス開発にもつながっていく可能性があります。

■縫い付け手芸キット製品改良への対応

多様な素材に印刷可能なUVプリンターの特徴を活かして、あらかじめ下地となる合成皮革に目印をカラー印刷することで、家庭や施設において、トレース紙の転写などの事前準備作業がなくなり、大幅に使い勝手が改良されます。

企業概要

過去20年以上にわたり、革やコード、木などを使った持ち手やバッグパーツ、バッグ用生地など、自社で企画した1万5千種以上のオリジナル手芸用パーツ等をINAZUMAブランドで卸売しているほか、ちりめんなどの和風生地と和風小物の企画・販売も行っています。

主要製品

バッグ持ち手、口金、鎖、金具、革、合成皮革パーツ、ファスナー木工、ココナッツパーツ、シェルパーツ、ボタン、手芸キット、ちりめん、コード・紐・レース、金具、房、バッグ用生地(レザー)、金欄、ボンテン、モール、水引ほか

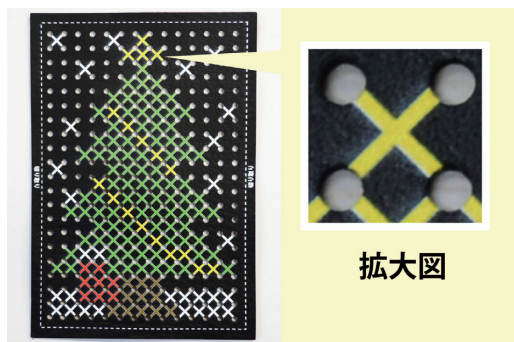


主要取引先

手芸問屋、手芸小売店、手芸教室など

主な保有設備

UVプリンター



〔写真1〕ファンジーステッチ (改良後)

事業の成果

■多品種小ロット販売

特注品などは、当装置の活用により、オンデマンドの発想で、迅速かつ1個単位で製作し、お客様のご要望に最大限お応えすることができるようになりました。



UVプリンター操作風景

しかし、当装置の活用によって、自社の端末でデザインを入力すると、1個単位で、しかもその場でサンプルが作成できるため、時間・費用の大幅な節減になり、お客様の満足度を高めることが可能となりました。また、持ち手だけでなく、オリジナル柄布地の制作にも役立っています。

量産移行時には、従来の外注方式で一定ロットを低コストで製作できるため、状況に応じたフレキシブルな生産体制が構築できつつあります。

■ネット販売

今後市場の拡大が予想されるインターネット販売では、当装置を活用した「柄入り持ち手」や「ユニフォームチャーム」〔写真2〕など極めて小ロットで個別性の強い限定商品を提供することが可能になりました。

そのほか、これまでは商品企画段階でサンプルを作成する際、例えば、カバン持ち手のパターン決めの場合、色や柄の組み合わせ単位で外注に発注しなければならなかったため、すべてのパターンを試すことはコスト面で大きな負担になっていました。



〔写真2〕柄入り持ち手とユニフォームチャーム

■縫い付け手芸キット製品

当初ターゲットとしていた高齢者向けの手芸趣味市場で、徐々に知名度が向上するとともに、当装置を活用した改良を機に、介護施設向けに本格的に参入したことで、販売も増加しつつあります。

今後の事業展開

■新たな強みの発揮

これまで当社はお客様が望まれる商品を常に予測し、タイムリーに供給する「生産管理能力」を大きな強みとしてきました。

今後はこの強みを活かしつつ、その一方で、当装置の活用により、お客様のご要望をそのまま形にする「再現力」、お客様の好みを瞬時に捉えて、すぐに商品化する「瞬発力」を強みに加えることが可能となります。

■新たな市場の開拓

縫い付け手芸キットについては、介護市場にとどまらず、将来的にはさらに運動機能等回復の治療器具や検査器具など医療分野への適用も考えられるため、現在、外部研究機関の協力を得て、実現に向けての応用研究段階に入っています。

今後は、従来の豊富な品揃えを支える在庫力を活かしつつ、小回りの利くUVプリンター活用商品を逐次展開し、他社の追随を許さないオリジナル性の高い商品を今後も作り続け、INAZUMAブランドの強化とお客様の満足度向上を図っていく所存です。